



患者さんの尊厳と安全を守るために

身体拘束最小化 に取り組んでいます

安心・信頼・思いやりの
医療をめざして



当院では、患者さんの人権と尊厳を尊重し、安心して医療を受けていただけるよう、身体拘束の最小化に取り組んでいます。

身体拘束とは

患者さんの行動を制限することによって、自由な動きを妨げることをいいます。

例

- ・ベッドに縛りつける（四肢の抑制）
- ・手指の動きを制限する（ミトン型手袋の使用）
- ・ベッドや車いすに体幹や手足をバンド等で固定する
- ・行動を制限する薬剤を過剰に使用する など

身体拘束は、患者さんにとって大きな苦痛を伴い、筋力の低下や認知機能の悪化、褥瘡（床ずれ）などのリスクが高まります。

当院の基本方針

当院は、身体拘束を「しない」「させない」「ゆるめる」「はずす」ことを基本方針とし、身体拘束の最小化を推進します。



やむを得ず身体拘束を行う場合も、必要最小限の方法とし、定期的に見直しを行い、早期の解除に努めます。

身体拘束最小化のための取り組み

私たちは、多職種が連携し、患者さん一人ひとりに合わせたケアを行います。

原因の分析と予防



なぜその行動が起こるのかを考え、環境やケアを見直し、未然に防ぎます。

安心できる環境づくり



見守りの強化や環境の調整により、安心して過ごせるよう支援します。

代替方法の工夫



身体拘束に代わるケアや補助用具の活用、活動や気分転換の時間を大切にします。

ご本人・ご家族との連携



患者さんの状態やケア方針について、丁寧に説明し、ご理解とご協力をいただきながら進めます。

♡ ご家族の皆さまへお願い

患者さんの安全と安楽のために、ご家族のご理解とご協力が不可欠です。

- ご本人の生活習慣や嗜好、これまでの様子をお知らせください。
- 不安や心配なことがあれば、いつでもお声がけください。
- 面会や付きし入れががりは、安心につながります。

一緒に、患者さんにとって最善のケアを考えていきましょう。



⚠ やむを得ず身体拘束を行う場合

- ✓ 医師が必要性を慎重に判断します。
- ✓ ご本人・ご家族に十分に説明し、同意を得ます。
- ✓ 必要最小限の方法で、定期的な状態を評価し、早期解除に努めます。

いつでも見直し、解除できるようにします。



私たちは、身体拘束最小化に真摯に取り組む、患者さんがその人らしく、安心して療養できる病院を目指します。

ご不明な点がございましたら、スタッフまでお気軽にお声掛けください。